

セッション名	時間	発表	質疑応答	演題登録番号	演題番号	発表順	演題名
一般演題1 トラブルシューティング・難治症例1	2024年12月7日 10:10-11:00	7分	3分	10000	O1-1	1	敗血症による重症心不全を併発した心臓デバイス感染感染性心内膜炎に対して、IMPELLA補助下に経静脈的リード抜去術を実施した1例
一般演題1 トラブルシューティング・難治症例1	2024年12月7日 10:10-11:00	7分	3分	10001	O1-3	3	リード関連静脈閉塞症に対する1期的な集学治療:デバイス抜去、ステント留置、そして再埋め込み
一般演題4 特殊なリードの抜去、リードレス	2024年12月7日 17:35-18:25	7分	3分	10002	O4-1	1	左脚ペースングリードの抜去ならびに再植え込みに関する経験と考察
一般演題4 特殊なリードの抜去、リードレス	2024年12月7日 17:35-18:25	7分	3分	10003	O4-4	4	当院でのMicra <sup>TM</sup> に対する経静脈的抜去の経験
一般演題3 外科症例、研究	2024年12月7日 15:30-16:20	7分	3分	10004	O3-1	1	リード穿孔症例に対する治療の検討
一般演題3 外科症例、研究	2024年12月7日 15:30-16:20	7分	3分	10005	O3-3	3	デバイス感染における胸郭インピーダンス変化の検討
一般演題2 トラブルシューティング・難治症例2	2024年12月7日 12:55-13:45	7分	3分	10006	O2-1	1	左鎖骨下静脈閉塞、右鎖骨下静脈高度狭窄の房室ブロック患者に対し、右側リード抜去と刺激伝導系ペースングを施行した1例
一般演題4 特殊なリードの抜去、リードレス	2024年12月7日 17:35-18:25	7分	3分	10007	O4-5	5	下垂したAveir VRのドッキングボタンの位置変更により抜去に成功した2症例
一般演題2 トラブルシューティング・難治症例2	2024年12月7日 12:55-13:45	7分	3分	10008	O2-3	3	EvolutionのSteady sheathの金属部分が離断するも、回収に成功しえた1症例
一般演題3 外科症例、研究	2024年12月7日 15:30-16:20	7分	3分	10009	O3-4	4	Dual chamber temporary permanent pacemakerの有用性に関する検討
一般演題1 トラブルシューティング・難治症例1	2024年12月7日 10:10-11:00	7分	3分	10010	O1-4	4	デバイス抜去後に広範な上肢深部静脈血栓症を来すも抗血栓療法で治療し得た1例
一般演題3 外科症例、研究	2024年12月7日 15:30-16:20	7分	3分	10011	O3-5	5	エキシマレーザーとガイドワイヤー被膜の耐久性調査
一般演題2 トラブルシューティング・難治症例2	2024年12月7日 12:55-13:45	7分	3分	10012	O2-4	4	デバイス抜去後に一期的に再埋め込みする際の注意すべき合併症:シース断裂
一般演題4 特殊なリードの抜去、リードレス	2024年12月7日 17:35-18:25	7分	3分	10013	O4-2	2	当院における4極アクティブ固定型冠静脈リードの抜去経験
一般演題1 トラブルシューティング・難治症例1	2024年12月7日 10:10-11:00	7分	3分	10014	O1-2	2	リードレスペースメーカー植込後に緑膿菌感染が持続した経静脈リード抜去症例
一般演題2 トラブルシューティング・難治症例2	2024年12月7日 12:55-13:45	7分	3分	10015	O2-2	2	静脈閉塞をとまなう心室リード不全に対する治療方針に苦慮した1例
一般演題2 トラブルシューティング・難治症例2	2024年12月7日 12:55-13:45	7分	3分	10016	O2-5	5	ダブルスネアテクニックにより安全に把持回収が可能であった右房-冠静脈洞迷入ピンチオフ症候群の一例
一般演題3 外科症例、研究	2024年12月7日 15:30-16:20	7分	3分	10017	O3-2	2	経静脈電極抜去手術の中期成績
一般演題1 トラブルシューティング・難治症例1	2024年12月7日 10:10-11:00	7分	3分	10018	O1-5	5	Sense-B-noiseが原因と考えられる不適切作動、ノイズ混入があり、S-ICDを抜去して新規植え込みを施行した1例
一般演題4 特殊なリードの抜去、リードレス	2024年12月7日 17:35-18:25	7分	3分	10019	O4-3	3	左室4極リードと単極・双極リードの抜去に関する比較検討